

平成27年度

”支笏洞爺ニセコルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月日: 2016/3/31
-------------------	------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H27					活動状況資料番	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
景観 (ウエルカム北海道 エリア)	エリアインフォメーションシステムの検討	シーニックバイウェイ情報拠点の変更	えにわ シーニックプロジェクト	平成28年3月26日	-	-	今年度末、エリア内の情報拠点「えにわ市民プラザ・アイル」より「まちづくりスポット恵み野」へ情報拠点を移行。次年度より、ルート・エリアの情報発信について検討していく。	
		-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-		
	来訪者をもてなすウエルカムルートの創	エリアマップの作成	-	-	-	-		-
			-	-	-	-		-
			-	-	-	-		-
北海道らしい清らかな水を印象づける みちづくりの促進	支笏湖の湖面利用に関する規制	-	-	-	-	-	今年度も、おもてなしの心を持って、沿道の清掃活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。長年継続してきた各地域の清掃活動は年々参加者が増加。支笏湖の清掃活動では、地域住民をはるかに超える企業や団体が参加しており、恵庭の清掃活動では、実に5000名を超える市民が清掃に参加している。また、みんなで活動「春のおもてなしシーニック」に登録し、活動のPRを行った。今後も、引き続き、エリアの特徴を活かした景観の向上を目指していく。	
	水辺の眺望ポイントの整理	-	-	-	-	-		
	河川や湖面、沿道の清掃 (* 清掃活動の推進)	453(ヨコサン)530(ゴミゼロ)キャンペーンin 支笏湖	NPO法人支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成27年5月30日 平成27年9月25日	各110名(主催側5名 一般参加者 105名)	S W 1		
		恵庭ゴミゼロの日	市役所ボランティアサークル・シボラ	平成27年5月30日	5200名(主催側50名 一般参加者 5150名)			
花とみどりによる四季の感じられる景 観形成	みどりのマイルストーン(道標)の整備	-	-	-	-	-	今年度も、おもてなしの心を持って沿道を彩る植栽活動を行い地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。恵庭岳公園線植えるカム花ロードは、10年を越える継続の中で、宿根草と一年草の植栽デザインを工夫し、沿道の庭の様な美しい植栽で、恵庭の玄関口を飾った。千歳ウエルカム花ロードは、活動13年目を迎え、引き続き実行委員会と小学生による花植え活動を実施。また、4回目を迎える小学生への特別授業を植栽当日に実施し、千歳青年会議所、北海道、札幌開発建設部の各担当が講師を担当し、おもてなしの心の育成に取り組んだ。協賛企業も増加し、徐々に周辺企業等への理解も広がっている。また、国道部分において、維持管理の負担軽減を目的に除草シートを用いる実験を行い、成果が見られた。今後も企業や地域の理解を深める広報活動を展開し、植栽、除草、教育プログラムを継続し、地域連携の輪を広げ活動継続に取り組んでいく。	
	ウエルカムゲートの整備促進	恵庭岳公園線植えるカム花ロード	恵庭市(建設部管理課)、北海道(空知総合振興局 札幌建設管理部 千歳出張所)、えにわシーニックプロジェクト	平成27年6月6日	約100名(主催側15名、一般参加85名)			
		ここからはじまる北海道 千歳ウエルカム花ロードver.13	千歳ウエルカム花ロード実行委員会(社団法人千歳青年会議所他)	平成27年6月15日(土起こし)、6月18日(授業・植栽)、8月19日(除草)	植栽580名(主催者185名、一般395名)、除草100名(主催者60名、一般40名)	S W 2		

			-	-	-	-	-		
		花とみどり(紅葉する樹木)の植栽		-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		-	-	-	-	-		
景観 (ニセコ羊 蹄エリア)		眺望ポイントの調査		-	-	-	-	-	
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	平成27年 6月	各10名(主催者側10名)	-		
	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	花と緑の植栽	綺羅街道沿道植栽		NPO法人ニセコまちづくりフォー ラム(事務局 ニセコ町商工会 内)	平成27年5月31日	120名(主催者側40名、一般参加80 名)	-	景観美化活動として植栽や清掃活動な ど、さまざまな取り組みが行われており、 活動を継続することで少しずつ取組の幅が 広がり、サポートメンバーも徐々に増えて いる。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて 景観づくりに関する検討を継続している。 各地域で子ども達と一緒に活動が目立っ ている。
			フラワーロードユリ植え		村づくり研究会	平成27年6月7日	100名(主催者側20名、一般参加80 名)	-	
			喜茂別町「町民公園の立体花壇整備」と 「ビューポイントパーキングの清掃活動」		NPO法人きもべつWAO、喜茂別 町	平成27年6月6日	50名	-	
			花いっぱい運動		留寿都村観光協会、るすつ WAO、留寿都高校他	平成27年5月28日 平成27年6月7日	100名(主催者側20名、一般参加80 名)	-	
	四季折々の表情を見せる田園景観を 保全する	廃屋の撤去		「羊蹄山麓広域景観づくり」と協働で検討	エリア全体	継続検討中	30名	-	
		フォトコンテスト		シーニックナイト2016フォトコンテスト	WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成28年2月20日	30名	-	
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観 をつくる	河川周辺の清掃や管理		尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理(草刈 等)	京極町景観を考える会、きもべ つWAO、WAOニセコ羊蹄再発 見の会	平成26年7月31日	30名(主催者側30名)	S N 1	
		河川景観の保全と河畔林の創出		尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリバーネット、 蘭越町	平成27年6月20日	320名(主催者側50名、一般参加 270名)	-	
散策路・フットパスの整備			フットパスウォーク2015in真狩村	(NPO法人しりべつリバーネット)	平成27年5月17日	35名	-		
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		「羊蹄山麓広域景観づくり」と協働で検討	羊蹄山麓広域景観づくり推進協 議会	継続検討中	30名	-	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」に て4つの検討部会を中心にそれぞれの情 報共有・情報交換等が行われている。	

景観 (洞爺湖 エリア)	洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究	協働型インフラ会議(国道230号洞爺湖エリア)	洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖町、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか	平成27年11月26日、平成28年3月10日	10名(各2回)	—	洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
		サクラの植栽	MOVE洞爺湖2015～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成27年4月29日	280名(主催側30名、一般参加250名)	—	
		花と緑(紅葉する樹木)の植栽	MOVE洞爺湖2015～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成27年4月29日	280名(主催側30名、一般参加250名)	—	
		洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	MOVE洞爺湖2015～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成27年4月29日	280名(主催側30名、一般参加250名)	—	
		花と緑の植栽	MOVE洞爺湖2015～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成27年4月29日	280名(主催側30名、一般参加250名)	—	
		洞爺湖1周(国道230号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)の清掃活動	1008 453(とうや よごさん)キャンペーン	支笏洞爺ニセコルート 代表車会議(洞爺湖エリア)	平成27年8月29日	80名	S T 1	
	温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉の花・プランター整備	MOVE洞爺湖2015～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成27年4月29日	280名(主催側30名、一般参加250名)	—	—
		湯煙のあるまちづくりの推進	洞爺湖温泉夏祭り	洞爺湖温泉観光協会	平成27年7月25日～8月16日	—	—	
			洞爺湖温泉薬師の日「湯かたまつり」	洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわいネットワークほか	平成27年8月8日	—	—	
			洞爺湖温泉冬まつり	洞爺湖温泉観光協会	平成27年2月4日～12日	—	—	
	温泉街のサインの統一	—	—	—	—	—	—	
	果樹園などの田園景観を整える	くだもの村の統一看板の設置	実施済み	そうべつくだもの村ほか	実施済み	—	—	—
		馬の歩く道景観づくり	—	—	—	—	—	
		花和地区の花壇整備	—	—	—	—	—	
		よごさん(453)キャンペーンの実施	1008 453(とうや よごさん)キャンペーン	支笏洞爺ニセコルート 代表車会議(洞爺湖エリア)	平成27年8月29日	80名	S T 1	
		花による沿道の演出	沿道美化活動	そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会	平成27年度	30名	—	
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去	協働型インフラ会議(国道230号洞爺湖エリア)	洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖町、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか	平成27年11月26日、平成28年3月10日	10名(各2回)	—	—	

地域 (ウエルカム北海道 エリア)	地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成	JP01 特別編集版 支笏湖 発行	国立公園支笏湖運営協議会	平成27年4月発行	-	-	国立公園支笏湖運営協議会にて、JP01特別編集版 支笏湖 を発行。支笏湖内はもとより、地下歩行空間にて配布・周知を行った。
		旧ユースホステルの保全・活用	-	-	-	-	-	
		歴史や文化的資源も含めた地域資源の発掘と活用	-	-	-	-	-	
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討	「恵み野花マップ」の制作による地域ブランドのPR	社団法人恵庭観光協会発行(えにわシーニックプロジェクト企画)	平成27年度(春季)	-	-	花の町恵庭の「花」を地域ブランドとして継続して情報発信している。花マップは、シーニックで企画し、社団法人恵庭観光協会に引き継がれている。同様に、今年度は、第27回恵庭花とくらし展の一環として、プレミアムバスツアーが行われた。今後も、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
			-	-	-	-	-	
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作	-	-	-	-	-	
		コミュニティビジネス研究	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
	交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進・活動参加のしくみづくり	ここからはじまる北海道 千歳ウエルカム花ロードver.13 特別授業	千歳ウエルカム花ロード実行委員会(社団法人千歳青年会議所)	平成27年6月18日	①緑小学校90名(主催10名、小学生他80名) ②千歳小学校58名(主催10名、小学生他48名)	地域の美しい沿道景観づくりと北海道を訪れる方へのおもてなしの心の育成を図るウエルカム花ロード活動について、花植えに参加する児童を対象に特別授業を実施。昨年に引き続き、植栽当日に授業を開催し、学びと体験を同時に実施した。活動の歴史と意義を伝える講義のほか、周辺環境や郷土への関心、愛着心を高めながら、活動への理解と協力、参加意欲を高める取り組み。今年度はは、青年会議所と札幌、北海道が中心に企画運営を行った。今後も、より効果的な教育プログラムの実施に向けて実行委員会の全機関で相互に協力し、継続していく予定である。	
			-	-	-	-		
		各研修会などの開催	クラウドファンディング勉強会	ウエルカム北海道エリア	平成27年12月1日	15名(主催4名、関係者9名)	-	
			-	-	-	-		

		タウンミーティングの開催	—	—	—		
地域 (ニセコ羊 蹄エリア)	歴史や文化資源も含めた地域資源の 発掘と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催	—	—	—	—	後継者不足が課題としてあったが、近年 は、小学生との連携や若手人材の活動へ の参加など、持続可能な体制の構築が図 られてきている。
		音楽コンサートの開催	シーニックナイト2016inニセコ	シーニックナイト2016inニセコ実 行委員会 他	平成28年2月21日	300名	
		地域資源の発掘・活用	教育環境プログラム「シーニックナイトキャ ンドルづくり」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見 の会	平成27年度	—	
			タカラモノプロジェクト2016	支笏洞爺ニセコルート代表者会 議	継続中	—	
	地域コミュニティを大切にしたい地域づく りの推進	地域の人々と連携した活動の推進	各自治体での清掃活動	ニセコ羊蹄エリア全域	平成27年度	延べ500名程度 (各50～70名)	
			教育環境プログラム「廃油や使用済みの ろうそくを再利用したキャンドル制作」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見 の会、倶知安町立東小学校2年 生、倶知安町立北陽小学校1年 生	継続中	①30名(主催者側4名、小学生ほか 26名) ②38名(主催者側3名、小学生ほか 35名)	
			南しりべし「道の駅」スタンプラリー	エリア代表者会議	継続中	—	
			羊蹄山ろく「道の駅」スタンプラリー	エリア代表者会議	継続中	—	
			地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	C. W. ニコル氏講演会『心に木を植える』	NPO法人しりべつリバーネット	

地域 (洞爺湖 エリア)	エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催	昭和新山登山会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成27年4月25日	50名		
		地域資源マップの作成	「La.toya(広域パンフレット)」の作成	洞爺湖温泉観光協会ほか	平成27年度	—		
	エリア産業の活性化	コミュニティビジネスの研究	ワンストップサポート事業の推進	NPO法人洞爺にぎわいネットワーク	継続中	—		
		地産地消の推進	[胆振の国(いぶりのくに)]食ブランド化プロジェクト	ゆったリズム体験倶楽部、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖温泉観光協会	継続中	—		
			洞爺湖有珠山ジオパーク「フードパス」	NPO法人そうべつ観光協会	継続中	—		
			そうべつりんごまつり	そうべつくだもの村外	平成27年10月4日	約10,050名(主催側50名、一般参加10,000名)		
		保養型温泉観光の推進	—	—	—	—	—	
		体験型農業の推進	—	—	—	—	—	
	エリアの人材育成	NPO化に向けた研修会の開催	—	—	—	—	—	
		地元の学校と連携した活動の推進	世界ジオパーク 昭和新山登山会(ジオツアー)	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成27年4月25日	50名		
		エリア人材登録制度の検討	洞爺湖有珠山火山マイスター養成講座	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会外	継続中	一般参加80名		
		タウンミーティング・シーニック塾の開催	洞爺湖有珠山ジオパーク 洞爺湖中島散策会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成27年10月24日	30名		

観光 (ウエルカム北海道 エリア)	周辺の田園地帯や水資源を活用した 魅力づくり	ファームイン・体験農園との連携の検討	-	-	-	-	-	メイン会場の道の駅花ロードえにわではボランティア70名による2500個の灯り、国道36号沿道合計3, 2kmの灯りなど、恵庭市内14会場で合計約1万個のキャンドルに灯りを灯し、冬の魅力ある景観づくり、観光空間づくりを実施。活動を続けてきたことで、市民、学生、PTAや企業が連携した、町ぐるみの活動に成長してきた。今後も、引き続き、参加団体も、来てくれる観光客のみなさんも楽しめる活動として続けていく。	
		食をテーマにした特産品の開発・地域連携の推進	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
		エリア企業との連携による魅力づくり	えにわシーニックナイト	えにわシーニックナイト実行委員会	平成28年2月6日、13日	約4100名(主催者1020名鑑賞者約3080名)	-		-
			-	-	-	-	-		-
	-		-	-	-	-	-		
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	支笏湖サンセットコンサート	支笏湖まつり実行委員会	サンセットコンサート 平成27年7月27日(土)	-	-	引き続き、景色の魅力をを活かしたイベント等と実施し、エリアの魅力を発信していく。	
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	観光コミュニティバスの実験運行						エリアの周遊性を高める情報発信として、平成24年度より、情報発信の仕組みとして個人が繋がり、そのネットワークを活かすFacebookの活用を開始。今年度も引き続き各エリアの地元ガイドさんなどと連携し、地域の旬の情報をルートのFacebookで発信した。また、シーニックナイトなど連携イベントの際は、それぞれ現地にて、情報をアップするなど周遊の工夫を行った。ルート内及び周辺の魅力ある地域資源を繋げ、周遊してもらう工夫をし、地域に人が入ってくるような企画を今後も継続的に実施したい。	
			ホームページの作成	FaceBookを活用した情報発信	ルート代表者会議	平成27年度継続実施	571名		
			-						

		エリアの周辺の検討	—				
			—				
		トレジャーハント等の実施	—				
観光 (ニセコ羊 蹄エリア)	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の開設	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、倶知安町 他	(通年営業)		倶知安町にアンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」が開設し、地域住民と来訪者の交流の場、地場産品の販売の場として展開している。今年度は小樽市内のホテルやレストランでの直売やファームボックス設置により、販売経路を広げる取組を行った。今後は適切なニーズの把握やより一層の販売経路の確保等についての検討が必要である。
	エリアのきめ細かな情報の発信	ホームページでの情報発信	イベント情報等の発信	NPO法人しりべつリバーネット、村づくり研究会ほか	継続中		各種イベントなど様々な取組について、従来のHPでの情報発信のほか、平成24年度開始したルートfacebookでの情報発信を継続している。
		ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	—	—	—	—	
エリアのホームページの作成	FaceBookを活用した情報発信	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成24年度開始(継続中)	主催側15名(管理人)			
地域とのふれあいを大切にした観光の推進	地域の歴史などに基づいたツアーの開催	—	—	—	—		ニセコ羊蹄エリアを中心として広域展開されてきたエキノコックス駆除活動は、継続的に実施されている。
	地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	第15回川に学ぶ体験活動全国大会in尻別川	NPO法人しりべつリバーネットほか	平成27年9月26日、27日	分科会:319名/交流会:174名/エクスカージョン:107名		
	ふれあいのある体験ツアーの企画開催	ニセコ湯めぐりバス	ニセコリゾート観光協会	継続中			
	シーニックデッキ・カフェの設置	シーニックデッキin八幡	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成27年度			
	シーニックバスの運行	—	—	—	—		

観光 (洞爺湖 エリア)	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	おもてなしキャンペーンの実施	有珠山頂夜まつり	有珠山ロープウェイ(NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか)	平成27年8月7日～9日	—	「La.toya(広域パンフレット)」の作成において、次年度発行される冊子の表紙にシーニックバイウエイのロゴマークが挿入され、補完的な情報提供につながった。		
		温泉街ガイドブックの発行	「La.toya(広域パンフレット)」の作成	洞爺湖温泉観光協会ほか	平成27年度	—			
		シーニックデッキの設置	洞爺湖マルシェ 湖畔カフェ	洞爺湖温泉観光協会	平成27年度	—			
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	—	—	—	—	—	地域の魅力ポイントをめぐる体験ツアーとして、今年度「カクレモノ☆プロジェクト」をfacebook利用者にターゲットを絞り、試行実施した。今後も地域資源の活用方法やその仕組みを継続していく。	
		エコミュージアムガイドブックの発行	—	—	—	—	—		
		エコミュージアムツアーの企画・運営	ジオツアー 有珠山学習会 一有珠新山・大有珠巡り	—	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成27年5月23日	60名		—
			秘境小幌駅応援ジオツアー	—	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成27年11月1日	15名		
		ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営	カクレモノ☆プロジェクト	—	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	継続中	—		—
		エリア人材バンクの設立	—	—	—	—	—		—
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	マップ・パンフレットの作成	「La.toya(広域パンフレット)」の作成	洞爺湖温泉観光協会ほか	平成27年度	—	各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を押し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。		
物産展の開催		そうべつりんごまつり	そうべつくだもの村外	平成27年10月4日	約10,050名(主催側50名、一般参加10,000名)				
花和地区の花壇整備		—	—	—	—				
ホームページやエリアマップなどでの情報発信		イベント情報等の発信	洞爺湖温泉観光協会、NPO法人そうべつ観光協会、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか	継続中	—				
シーニックバスツアーの企画・運行	—	—	—	—	—	—			

	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画	洞爺湖周辺地域エコミュージアム・ジオパークツアー」	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	継続中	各30名程度	洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、平成20年10月に新たに『洞爺湖有珠山ジオパーク』（世界地質遺産）国内候補地に決定したことで、豊かな自然や地質遺産を活用したジオツーリズムなどの普及拡大を通して、北海道洞爺湖サミット開催地としての知名度向上を追い風にしたニューツーリズムの振興が期待される。
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	洞爺湖温泉観光協会	平成27年11月13日～平成27年2月22日	—	「世界ジオパーク」として登録された「洞爺湖有珠山ジオパーク」が有する洞爺カルデラや有珠山などに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さらに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期待される。
TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2015		TOYAKOマンガ・アニメフェスタ事業推進委員会（洞爺湖温泉観光協会ほか）	平成26年6月21日、22日	51,500名		
洞爺湖温泉ウインターキャンペーン		（社）洞爺湖温泉観光協会	平成27年度	—		
	人材育成のための研修会などの開催	[胆振の国(いぶりのくに)]食ブランド化プロジェクト	ゆったリズム体験倶楽部、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖温泉観光協会	継続中	—	
洞爺湖有珠山ジオパーク「フードパス」		NPO法人そうべつ観光協会	継続中	—		

観光 (ルート連携)	ルートを対象としたイベントの企画・実施	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2016」	シーニックナイト2016実行委員会	平成27年1月31日～2月22日		各地での取り組みが多様化するなど地域の取り組みとして着実に浸透してきている。 平成26年度は、開催。壮瞥町、洞爺湖町、伊達市、千歳市市街・支笏湖、恵庭市、京極町、喜茂別町、倶知安町、ニセコ町、赤井川村、小樽市の11市町村で実施。 ウエルカム北海道エリアでは、2月6日に恵庭市全域、2月13日に恵庭市恵み野、支笏湖で開催。メイン会場の花ロード恵庭では、昨年好評だった「雪蛍」と名づけられたアイスキヤンドルのオブジェや、巨大シャボン玉体験などが実施されるとともに、千歳市街地やまちづくりスポット恵み野など新しい会場が加わった。来場者の滞在時間が長く、賑わいが途絶えなかった。
		支笏洞爺ニセコ “タカラモノプロジェクト” “カクレモノプロジェクト”	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	継続中	—	支笏洞爺ニセコルート内で、これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに「光」をあて、“新たな付加価値”をつける。宝ものプロジェクト。平成24年度から継続的にメニュー作成、商品開発、実際にシーニックカフェでの提供などを行っている。
	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進～シーニックの森づくりの推進～	—				
		—				
		エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会・倶知安町、京極町景観を考える会・京極町、らんこしWAO・蘭越町、NPO法人きもべつWAO・喜茂別町、ニセコ町、真狩村 他	平成27年度	各20名程度 (自治体毎に毎月1回ペイト散布)	
	特定テーマによるルートプロモーション活動	子ども向け普及啓発資料の検討	支笏洞爺ニセコルート	平成27年度	16名	シーニックバイウェイ北海道及び支笏洞爺ニセコルートの認知度向上と次世代を担う子どもたちへの伝えることを目的とした普及啓発資料の作成にとりかかった。地域で活動する「人」をキャラクター化し、活動を印象的に伝えることを計画しており、今年度は、各人物がルート内での活動や思いを共有するワークショップを開催した。次年度も引き続き、検討を続ける。

- 【概要】** 千歳ウェルカム花ロードは、年間約2000万人が利用する北海道の空の玄関口新千歳空港の町として、「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに、美しい景観づくりを通じて子供達の『おもてなしの心』を育成する活動として、(社)千歳青年会議所が中心となり平成15年に始まった。小学校、企業、ボランティア、花植え団体、航空自衛隊千歳基地、行政機関へと協力連携の輪が広がり、活動13年間で約6千6百人が参加し、空港周辺に22万株の花を植えた。13年目を迎えた今年も、札幌駅前通地下歩行空間で活動紹介PR展示、6月18日(木)に千歳市立緑小学校、千歳市立千歳小学校で花ロード事前特別授業を行った後、約600人が参加し、空港周辺の沿道約6.7kmに約2万6千株の花を植え、おもてなしの花咲く道をつなげました8月には、実行委員会とボランティアなど約100名による花壇の除草を実施した。
- 【日時】** 札幌駅前通地下歩行空間PR展示：平成27年5月22日～6月5日
花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）・花植え：6月18日
除草：8月19日
- 【場所】** 千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）
- 【主催】** 千歳ウェルカム花ロード実行委員会 **【参加人数】** 植栽580名、授業148名、除草100名



『453・530 (ヨゴサン・ゴミゼロ) キャンペーンin支笏湖』

- 【概要】** 453 (ヨゴサン) キャンペーンは、春の5月30日 (ゴミゼロ) と秋の10月3日に、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。シーニックバイウェイ試行当初からの継続活動で12年目を迎えました。活動当初は、50名程の参加者であったのが、企業や団体等のボランティア参加が少しずつふえ、今年の5月で11団体、総勢100名を越える参加となりました。
- 【日時】** 平成27年5月30日、9月25日 午前6時15分～7時45分
- 【場所】** (集合) 千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場 (バスターミナル) 前
(実施場所) 国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐
- 【主催】** NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- 【協力】** 支笏湖自治振興会・支笏湖旅館組合・支笏湖商工会・支笏湖老人クラブ・支笏湖恵岳会・支笏湖小学校PTA自然公園財団支笏湖支部・千歳市・札幌開発建設部
- 【参加人数】** 春：110名、秋：110名



【概要】従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とおや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。今年は、参加人数も過去最高の80名となり、6コースと広い範囲で展開。回収ゴミの量は洞爺湖町側で1トン、壮瞥町側で約2トン、伊達市で約1トン、合計4トンのゴミを回収した。

【日時】平成27年8月29日(土)

【場所】洞爺湖1周

(国道230号・国道453号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)

【主催】支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)

【参加人数】80名



開会式の様子



参加者の様子



ゴミ拾い終了時の様子

道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験

【概要】シーニックバイウェイによる沿道の景観清掃活動の中で目に付いた道路の景観を阻害する胡桃の木等を撤去する活動を兼ねて、友の会では自発的に遊歩道に杖を設置した。実施内容としては、①道路の景観を向上させ、②枝打ちした胡桃の枝を加工して杖にし、③剥いだ樹皮を乾燥加工し籠編み材にし、④会員に籠編み講習会を通じ趣味を広げ、⑤道の駅等で販売し観光協会への売上げと会の売上げとし、⑥得た資金で道路景観保全活動等に貢献するエコサイクル事業を展開した。

【日時】平成27年度

【場所】洞爺湖周辺(国道453号沿い)

【主催】NPO法人有珠山周辺ジオパーク友の会

【協力】室蘭開発建設部

【参加人数】30名



3町連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理（草刈等）

【概要】今年度で4回目の取組み。従来、各団体が個別に行ってきた清掃活動を拡大し、羊蹄山麓周辺3町村（京極町・喜茂別町・倶知安町）協力のもと、尻別川や羊蹄山という資源を守り、美しいドライブルートを創出する一環として、合同維持管理作業を実施した。団体の抱える高齢化等の問題に対し地域一体で取組を進めたことが成果として残る一方、実施に係る費用の捻出方法については今後の課題である。

【日時】平成27年7月28日（火）

【場所】京極町、倶知安町、喜茂別町のビューポイントパーキング周辺（計3か所）

【主催】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表者会議

NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会／京極町景観を考える会／NPO法人きもべつWAO

【参加人数】約30名



京極町更進地区の様子



喜茂別町相川地区の様子



参加者全員の集合写真
（倶知安町八幡地区）

活動名：シーニックナイト2016

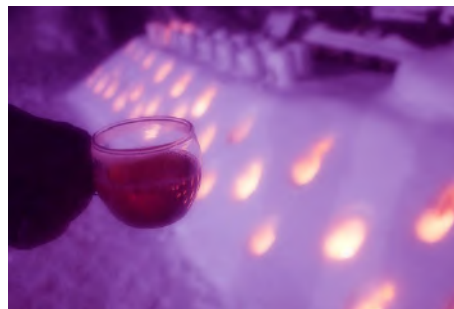
【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りにつなぐ、”シーニックナイト2016”。各エリア、年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、各種地域イベントとの連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】毎年1月下旬から2月下旬まで

【場 所】支笏洞爺ニセコルート(ウェルカムエリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内)

【主 催】シーニックナイト実行委員会

【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷 清	報告年月:2016/3/31
-------------------------------	------------------------	----------------

活動団体
<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ ・えにわシーニックプロジェクト ・社団法人 千歳青年会議所 (計3団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>●エリア代表者会議の運営 (構成) (代表)エリア代表 平成17年・20・23・24・25・26・27年 泉谷 清(えにわシーニックプロジェクト) 平成18年・21年・22年 白石 一人(NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ) 平成19年 佐藤 哲也(社団法人 千歳青年会議所)</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	エリア運営(事務局体制:スケ ジュール調整など)													
	ルート運営代表者会議			● 6月12日 (第1回)恵庭							● 1月27日 (第2回)洞爺湖			
	エリア代表者会議									● 2月8日 (第1回)支笏湖				
	シーニックナイト2016									● 12月4日 恵庭実行委員 会				
	検討会・勉強会など		● 5月14日 (第1回花ロード 実行委員会)							● 12月1日 (クラウドファンデ ィング勉強会)		● 2月22日 (クラウドファンデ ィング勉強会)	● 3月29日 (第2回花ロード 実行委員会)	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2016/3/31
------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実施		● 5月14日 (第1回花ロード 実行委員会)							● 12月1日 (クラウドファンデ ィング勉強会)		● 2月22日 (クラウドファンデ ィング勉強会)	●3月16日 (行政連絡会 議) ●3月29日 (第2回花ロード 実行委員会)	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:洞爺湖エリア代表 藤盛 元	報告年月:2016/3/31
--------------------------	-------------------	----------------

活動団体
一般社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったりリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会、ナチュラル・フロンティア(株) (以上8団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1) 洞爺湖エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2) 洞爺湖エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事項	ルート運営代表者会議			● 6月12日 (第1回)恵庭							● 1月27日 (第2回)洞爺湖			
	エリア代表者会議					● 8月25日 (第1回) 壮瞥町								
	東胆振、日高地域勉強会など								● 11月9日 日高自動車道シンポジウム	● 12月3日 事務局打合せ		● 2月23日 事務局打合せ		
	シーニックナイト2016								← 事務打合せ	← 地域内調整		● 1月30日～2月21日:実施		
	1008 453 キャンペーン 2015 /道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験						● 8月29日 1008 453 キャンペーン 2015							

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2016/3/31
--------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事項	行政連絡会議の実施				● 7月8日 行政連絡会議				● 11月26日 協働型会議①				● 3月10日 協働型会議②	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者: ニセコ羊蹄エリア代表 熊谷 雅幸	報告年月: 2016/3/31
-----------------------------	-----------------------	-----------------

活動団体
共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコマちづくりフォーラム、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO、北海道ワイン道と緑を守る会(以上12団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表: 熊谷 雅幸(らんこしWAO)</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			● 6月12日 (第1回) 恵庭							● 1月27日 (第2回) 洞爺湖			
	エリア代表者会議				● 7月28日 (第1回) 倶知安町									
	シーニックナイト2016								← 事務打合せ	→ 地域内調整		● 1月30日~2月21日: 実施		
	タカラモノプロジェクト2016	←												→

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 小樽開発建設部	報告年月: 2016/3/31
-------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	協働型道路マネジメント会議の実施									● 12月25日 協働型会議①		● 2月24日 協働型会議②		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:小樽開発建設部	報告年月:2016/3/31
------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	各自治体での清掃活動	平成27年春	エリア内各自治体	取り組みは定着しており、地域住民の参加もある程度確保できているが、次世代につなぐ取り組みは検討されていない。	各地域で景観づくりや保全の取り組みが定着・浸透しており、行政機関同士の情報共有、情報交換を継続していく。	1
		フラワーロードゆり植え事業	平成27年6月7日	真狩村	ゆりの球根代など経費が高く、村からの助成金負担も大きい。参加者の確保や、土地所有者に頼っている維持管理の協力がいつまで続くかが課題。花の満開時期の沿道草刈りを検討したい。		2
		ビューポイントパーキングの花壇整備・維持管理	平成27年夏	喜茂別町	活動は継続中。行政は人的支援のみで予算手当はなし。		3
		花いっぱい運動	平成27年6月7日	留寿都村	地域住民が約100名参加する地域活動として定着。地元の高校や、小中学校の特殊学級も参加。現在は村が観光協会に委託して花の維持管理がされている。		4
	尻別川など自然豊かな水辺の景観をつくる	尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理(ビューポイントパーキングの草刈り等)	平成27年7月28日	京極町、喜茂別町、倶知安町、小樽開発建設部	3町の活動団体と行政が合同で実施することにより作業の効率化が図られているのは成果であるが、活動団体の高齢化が切実な課題。		6
		尻別川クリーン作戦	平成27年6月20日	蘭越町、後志総合振興局、小樽開発建設部	清掃作業のみならず、作業終了後の地域交流会が実施されている。		7
		歴史や文化資源を含めた地域資源の発掘と活用	フットバス体験(ニセコ、真狩)	平成27年5月17日 平成27年7月18日	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会		既存コースを活用し住民参加型で地域資源の魅力発掘を実践。今後の進め方は協議会で検討していく。
地域	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	シーニックバイウェイのパネル展	平成27年9月12日～13日	小樽開発建設部	管内の生産者と消費者との交流を目的に小樽市内で開催されているイベント(後志収穫祭)と連携し、ドライブ観光の促進としてシーニックバイウェイや道の駅を来場者に紹介。効果検証が今後の課題。	協議会と関係団体で情報共有、意見交換を継続していく。	9
		シーニックナイト2016	平成28年2月	管内6市町村、小樽開発建設部、倶知安開発事務所	行政は人的支援と広報協力によって活動団体をサポート。		10
	地域の人材育成と活用	羊蹄山麓広域景観づくり検討会議	—	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会、小樽開発建設部	協議会事務局にてH28年度の行動計画を策定中。		11
観光	エリアのきめ細やかな情報発信	しりべしシステム事業との連携(HP等の媒体活用)	平成27年度	後志観光連盟、小樽開発建設部	「しりべしシステム」の地域だよりで発信する情報を、各自治体等から提供。	地域の魅力を発信するため、自治体・「道の駅」などと連携したPR活動をおこなっている。	12
その他	環境に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除活動	平成27年度	倶知安町、京極町、蘭越町、ニセコ町、喜茂別町、真狩村	散布するベイトの経費を町が負担している。	5自治体(蘭越、ニセコ、喜茂別、京極倶知安)にて予算付けされ、地域全体の取り組みとして認知されてきた。	13

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
------------------	-------------	-------	------	--------	----	------

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2016/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出 北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	平成27年6月6日	・恵庭市	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。 ・今後も、各行政機関連携のもと、活動団体の意向に対する調整や支援メニューの提案など、密な連携が望まれる。 また、千歳ウェルカム花ロードは10周年越え、千歳市民を始め全道・全国へのPRとなる情報発信に努め、特別授業の実施や、地下歩行空間での展示などに取り組んだ。	1
			・北海道空知総合振興局札幌建設管理部 千歳出張所	・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成。4カ年限定の事業であったが、継続した支援体制を続けている。		2
	・千歳市	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加	平成27年5月30日 平成27年9月25日	・札幌開発建設部 千歳道路事務所 ・人的支援として、清掃活動に参加 ・支笏湖自然保護官事務所 ・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クリーンデーとの清掃活動の連携も考えられる		3
景観	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	平成27年 ①5月14日 ②5月22日 ③6月18日 ④6月18日 ⑤8月19日	・千歳市	・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り実施。 ・小学校による花ロード特別授業の講師を実施	・平成21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。活動全般に関する企画・運営支援、関係行政機関、団体等との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより国道36号の植樹マスへの植栽・草刈りを実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。 ・花ロード活動の広報支援。PR展示(地下歩行空間)の企画・調整・実施 ・小学校による花ロード特別授業の講師を実施	3
			・札幌開発建設部 千歳道路事務所	・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。活動全般に関する企画・運営支援、関係行政機関、団体等との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより国道36号の植樹マスへの植栽・草刈りを実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。 ・花ロード活動の広報支援。PR展示(地下歩行空間)の企画・調整・実施 ・小学校による花ロード特別授業の講師を実施		
			・北海道空知総合振興局札幌建設管理部	・道道千歳インター線において、植栽活動を実施。 ・植栽後の維持管理が課題(小学生や地域との連携を考えたいが、安全面の問題があり難しい。現在も、月1回実施しており、行政側の対応としては限界という状況) ・企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。 ・その他10年目の各種特別企画に関する協力支援		
地域						
地域						
地域						
地域						

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
観光	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	支笏湖マップ増刷・配布	平成27年度	・千歳市	・支笏湖の多言語マップの増刷協力	<p>・地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。地域内外でルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。</p> <p>・今後も、行政機関等と連携し、活動団体と協働で企画や調整、参加、相談などの支援、情報発信、提供による支援も継続して行っていく。</p>	4	
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信			平成27年度	・北海道空知総合振興局札幌建設管理部		・ホームページトップページにおいて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載し、活動の周知に協力。	5
				平成27年度	・北海道		・道路課のトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。	
				平成27年度	・札幌運輸支局		・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。	
				平成27年度	・札幌開発建設部		・H19年度より、さっけんホームページにおいてシーニックバイウェイ制度やルートに関する情報を掲載。	
			平成27年度	・恵庭市	・ルート連携活動「シーニックナイト2016～ゆれるあかりがこころもゆらす～」実施のための人的支援、メール配信。		6	
			平成27年度	・千歳市	・市民活動支援制度えにわブークェスによる支援金の交付			
			平成27年度	・北海道石狩総合振興局地域政策課ほか行政連絡会議関係機関	・ルート連携活動「シーニックナイト2016～ゆれるあかりがこころもゆらす～」実施のためのキャンドル費用を支援			
			平成27年2月7日～2月14日	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部、千歳道路事務所、滝野すすらん丘陵公園事務所ほか	・ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト2016～ゆれるあかりがこころもゆらす～」の活動周知のための情報を掲載。(石狩の風景にて、実施の様子を掲載)。シーニックナイトのポスター掲示。		7	
			平成27年度	・札幌開発建設部	・ルート連携活動「シーニックナイト2016～ゆれるあかりがこころもゆらす～」において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。			
	★地下歩行空間におけるシーニックバイウェイ北海道PR		平成27年度	・札幌開発建設部	・地下歩行空間でセルフバイウェイを使用して、シーニックバイウェイ北海道のPRイベントを開催 ・支笏洞爺ニセコルート紹介や、パネル展示、パンフレット配布			

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
------------------	-------------	-------	------	--------	----	------

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア) 報告者:室蘭開発建設部 報告年月:2016/3/31

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	洞爺湖に彩を添える	MOVE洞爺湖2015	平成27年4月29日 洞爺湖町	AIR' Gとの協力の下、洞爺湖町が洞爺湖温泉街の花壇整備・清掃活動を2001年から継続展開中。洞爺湖畔のゴミ拾い、彫刻清掃に加えて、花壇整備や桜の植樹を行っている。	当該地域では、清掃活動や花壇整備などの景観づくりが行われている。今後も地域住民の「想い」を各関係行政機関が「後押しする・繋げる」などの協働型マネジメントの取り組みにシフトしていくことが必要であると思われる。	1
地域	エリアの資源の保全活用	ジオツアー 有珠山学習会 -火口原・小有珠・旧登山道巡り-	平成27年5月23日 壮瞥町	有珠山学習会として、銀沼火口周辺散策後、小有珠山頂に登り、北外輪山から壮瞥温泉に下山するツアー。コース案内として友の会ガイド部会、火山マイスターメンバーが担当した。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携した適切な維持管理体制の構築が必要。	2
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進	平成27年度 胆振総合振興局	胆振総合振興局は平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。平成27年度は新たに5名が加わり現在40名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場が広がってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養成講座」も継続を予定している。		3
観光	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	「オールいぶり」によるビジットジャパンキャンペーンの展開	平成27年度 (継続展開) 北海道運輸局 伊達市 豊浦町 洞爺湖町 壮瞥町	運輸局と連携し、北海道登別洞爺広域観光圏が中心となって、ビジットジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向けた取り組みを推進している。VJCでは、海外のマスコミやエージェントに対して、また修学旅行等をターゲットとした各種PR活動を展開している。	当該管内では、「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を中心に自治体間や関係行政機関の連携が積極的に図られている。行政としては行政連絡会議や各種取り組みにおいて参加協力及び人的支援等による連携が図られている。	4
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	洞爺湖有珠山地域ジオパーク関連ツアー	平成27年度 壮瞥町	ジオサイトとなっている洞爺カルデラの中にある中島を散策する「洞爺湖中島散策会」ほか、有珠山、昭和新山を登山するジオツアーを開催。参加者は、さまざまな分野を学習し、壮大な火山活動が創った有珠山、洞爺湖等、ジオ・エコツアーを楽しんだ。		5
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成27年11月13日～平成28年2月22日 洞爺湖町	洞爺湖温泉にぎわい広場に延長約70mのトンネルを設置し、LEDなど約40万個の電球で飾る。		6
		シーニックナイト2016～ゆれるあかりがこころもゆらす～	平成28年1月30日～2月20日 胆振総合振興局 伊達市 壮瞥町 室蘭開発建設部	シーニックバイウェイ北海道・支笏洞爺ニセコルートでの冬の夜を楽しむイベント、「シーニックナイト2016」。一般市民が多数参加し、キャンドルの火を灯すことにより、地域住民及び観光客に対して、広くシーニックバイウェイの取組をPRすることができた。各行政機関も後援などの形で支援を行っている。		7